

令和 8 年度 第 1・2 回 合同番組審議会 議事録

1 開催年月日

令和 8 年 10 月 6 日（火） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分ごろ

2 開催場所

砺波市太郎丸 2-129 北日本新聞社砺波支社 会議室

3 委員の出席

委員総数 6 名

出席委員数 6 名

出席委員の氏名（◎委員長 ＊欠席）

◎ 福原 達	63 歳、男、砺波図書館長
渡邊 一美	69 歳、女、福光美術館長
境 佐余子	54 歳、女、砺波市議会議員
熊野 皓太	39 歳、男、砺波商工会議所青年部会長
久保田 晃克	49 歳、男、リアル・プランニング株式会社代表取締役
山本 建太	36 歳、男、となみ青年会議所理事長

放送事業者側出席者名

河合 常晴	(株式会社エフエムとなみ 代表取締役社長)
古井 裕人	(株式会社エフエムとなみ 取締役放送局長)
高信 静枝	(株式会社エフエムとなみ 放送部長)

4 議事の概要

社長の挨拶に続き、福原委員長、渡邊副委員長を選任し、放送番組についての説明の後協議へ。
その後は、番組編成などについて意見交換を行った。

5 議題

1. 放送番組に対する評価

《対象番組》

- ・「寅のキトキトロクンロールレディオ」（2026 年 7 月 14 日（火）放送）
高岡出身キトキトロケンローラー“寅（とら）”がお届けする 30 分番組。

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

富山のエンタメ情報や観光情報を中心に、ゲストを交えての軽快なトークまで、見た目もでっかい寅がスケールのでっかい番組を届けている。

今回は、日本けん玉協会理事の花野井潤さんをゲストに迎えて、けん玉の魅力について聞いた。

(市民パーソナリティー：キトキトロケンローラー寅)

・「76.9 らいぶ」(2026年9月1日(火)放送)

ニュースや天気、地域情報をコンパクトにまとめた、平日夕方の30分生放送番組。

今年4月からはTSTとなみ衛星通信テレビで同時生放送している。

今回は防災の日に合わせて、テレビ画面と連動しながら、TSTのデータ放送での防災情報配信とライブカメラについて紹介している。

(パーソナリティー：中島有希永)

2. 番組編成に対するアドバイス

3. その他

6 審議内容(各委員の発言を要約して箇条書きで記載)

【渡邊副委員長】

・「寅のキトキトロッケンロールレディオ」について

番組のテンポも軽快で、聞いている方も元気が出てくる感じがした。

寅さんのことは知っているが、声が魅力的で、目の前にいるような感じで番組を聞いた。

ゲストの魅力を引き出して、パーソナリティーとしての能力が高いなと感じた。

トークと曲のバランスも良く聞きやすかった。

・「76.9 らいぶ」について

生活に大事なことを伝える番組だが、そういうことがちゃんと伝わってくる内容だった。

パーソナリティーの滑舌もはっきりしていて、ゆっくりとした話のテンポも高齢者には聞き取りやすかった。声のトーンは少し低音だと思うが、それも聞きやすかった。

防災に関する情報を伝えていたが、内容に見合った話し方だと感じた。

【境委員】

・「寅のキトキトロッケンロールレディオ」について

寅さんのテンポの良い耳ざわりのよい声質が聞きやすかった。

けん玉という見て楽しむものをラジオで紹介するところがチャレンジングだなと感じた。

初対面のふたりだったが、ゲストの方の喋りも上手く、けん玉をイメージしながら楽しく聞いた。番組最後にけん玉の技に挑戦しているところは、時間内に成功するかどうかのドキドキハラハラ感も楽しかった。

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

・「76.9 らいぶ」について

4 月からケーブルテレビでも放送しているので、テレビで見ることも多い。自宅ではテレビで、移動中はラジオで、どちらでも聞けるのが良い。

紹介していた防災に関する情報は、情報量も多く 1 回聞いただけでは分かりにくいのではないと思った。防災情報は大切なので、これからも伝えてほしい。

【久保田委員】

・「寅のキトキトロックンロールレディオ」について

寅さんの明るさがみんなに伝わるような番組だった。

「けん玉協会」というのがあるんだ！という発見があり、ふたりのかけあいで、けん玉の魅力が伝わってきた。

つつい聞いてしまって、あっという間の 30 分だった。BGM も明るくて良かった。

・「76.9 らいぶ」について

伝えるべきことを無駄なく伝えていたのではないかな。ニュースの落ち着いたトーンは、他局と遜色なく聞きやすかった。

防災情報の入手方法の紹介は、年配の方には音声だけだと難しいのではないかと感じた。例えば作業過程を、「操作方法は 3 つです」といったように、順序だてて紹介すると分かりやすいかもしれない。

【熊野委員】

・「寅のキトキトロックンロールレディオ」について

寅さんの曲「富山にある」で番組が始まるところもインパクトがあり、聞き入ってしまった。

全体的に、寅さんの声が聞きやすく、テンポも耳に入ってくるやすい早いテンポが良かった。

けん玉が今にも見えてくるようなトークになっていて、引き出し方が上手いと思った。

・「76.9 らいぶ」について

防災情報を伝えるところは、ラジオだけでも伝わっているのではと思った。

内容に合わせてか、パーソナリティーの声のトーンが低めで、時折暗く感じた。30 分の中でもメリハリをつけて、明るい部分があってもいいかもしれない。

・その他

イベント紹介で生番組に出演したことがあるが、1 回限りの紹介かと思っていたら、ふとラジオを付けた時にそのイベントを紹介していて嬉しく感じた。

【山本委員】

・「寅のキトキトロックンロールレディオ」について

パーソナリティーとゲストとの掛け合いが自然で、堅苦しくなく聞けた。親しみやすいコミ

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

ユニティならではの番組だなと感じた。

タイトルのインパクトが大きいので、その特徴が出ればなお良いのではないかな。

・「76.9 らいぶ」について

全体的に聞きやすかった。コメンテーターのいる番組だと、コメンテーターの知見なのかニュースとしての事実なのか分からなくなることがある。この番組は、ニュース・天気と迷う部分がなく、分かりやすかった。

【福原委員長】

・「寅のキトキトロッキンロールレディオ」について

大変テンポよく楽しく聞けた。寅さんを知らなかったが、「富山にある」でスタートしたので、この人なのか！と分かった。

初対面とは思えない感じでトークが展開されていた。ゲストのリクエスト曲でスタートするのも、ゲストをイメージさせて良かった。

ホストの寅さんが目立ってしまうのが番組の味でもあると思うが、ゲストの花野井さんはもう少し話したかったようにも感じた。次回を期待したい。

・「76.9 らいぶ」

ニュースの部分と、ケーブルテレビの防災情報を紹介している部分で話すテンポが違っていた。防災情報のときは少しゆっくりで、重要なところは2度繰り返し、テレビとの連動を意識して話しているんだなと感じた。ラジオで伝えられることには限界がある。聞いた人が後から確認できる方法を紹介していたが、それが大切だなと思った。

ラジオは音声だけなので、順序が分かるような言葉、「続いて」や「お終いに」など、聞きやすくなる技も使ってほしい。

7 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

・「76.9 らいぶ」

順序が分かる言葉を意識して使う等、分かりやすい説明を工夫するよう指示した。

(令和8年10月7日)

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

令和8年10月7日付北日本新聞朝刊に記事を掲載。

FMとなみのHP上でも議事録を公開。

以上

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------